

保健管理センター業務報告書

(2022年度版)

筑波大学保健管理センター

目 次

1. 保健管理センター沿革	1
2. 保健管理センター細則	3
3. 保健管理センター運営委員会	
1) 運営委員名簿	11
2) 運営委員会議事	12
4. 保健管理センターの組織図及び職員	
1) 組織図	13
2) 職員	14
5. 対応業務等	15
6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断	17
7. 学生健康診断	
1) 定期健康診断	
i) 受診状況	18
a) 学群生	18
b) 大学院生	18
c) 研究生等	18
ii) 健康診断再検査者	19
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
8. 職員健康診断	
1) 一般健康診断	
i) 定期健康診断受診者数及び受診率	21
ii) 事業場ごとの有所見者数及び有所見率	22
iii) 項目別有所見者数及び有所見率	23
iv) 年間の有所見者数	24
v) 特定業務従事者の健康診断	24
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断	25
ii) 有機溶剤健康診断	25
iii) 特定化学物質健康診断	25
iv) 高気圧業務健康診断	26

3) 事後措置	
i) 受診勧奨及び健康相談	26
ii) 医師の意見	26
4) がん検診	
i) 胃造影検査	27
ii) 便潜血反応検査	27
iii) P S A検査	27
9. 保健管理センター利用状況	
1) 健康相談月別利用状況	
i) 学生内科受診数	28
ii) 学生整形外科受診数	28
iii) 学生外科処置受診数	28
iv) 学生精神科受診数	29
v) 職員・その他	29
2) 診療収入等	30
10. その他	
1) インフルエンザワクチン接種	31
2) 臨床検査実施数	31
3) エックス線写真撮影件数及び枚数	32
4) 心理検査実施数	33
5) 処方箋発行数	34
6) 外部診療機関紹介状況	35
7) 健康診断証明書等発行数	36
8) 救護活動	37
9) 救急箱貸出数	38
10) 医療安全教育研修	39
11. 研究業績	40

1. 保健管理センター沿革

昭和48年10月の筑波大学の開学にあわせて、保健管理センターが設置された。昭和49年4月に専任の職員が発令となり、オリンピック記念青少年総合センターにおいて開かれた新入学生オリエンテーション以降、臨床医学系教員ほか関係各位の協力を得て救護活動を開始した。

昭和49年6月3日に筑波地区での講義開始に合せ、体育合宿所の一部で本格的業務を開始し、昭和50年7月に専用の建物が現在地に竣工し、移転した。

なお、昭和49年9月から、文部省（現文部科学省）共済組合筑波大学支部診療所が当センターに併設され、以後その業務についてもセンター職員が兼務している。

昭和53年3月31日の東京教育大学の閉学、筑波大学への移管に伴い、東京教育大学で健康管理業務を担ってきた健康相談所も閉鎖され、本学東京地区職員の健康管理業務は当センターが行うことになった。

昭和54年10月から、一の矢学生宿舎に夜間医務室を設け、医師が宿泊し夜間の救急に備えた。

開学当初は学生相談の対応とともに内科、精神科、整形外科及び歯科を開設し、昭和50年に眼科（～平成元年度）、また昭和57年には婦人科（～平成8年度）が開設され、さらに昭和63年には運動選手を主たる対象とするスポーツ・クリニックも始められた。

平成元年に創立15周年を迎え、記念誌「健康への歩み」を発行した。

平成3年7月に、本学が当番大学となり第29回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館国際会議室において開催した。

平成3年末に、附属病院の救急部の新設や近隣病院の開設等の医療体制の整備に伴い、一の矢学生宿舎の夜間医務室を廃止した。また、プロジェクトとしてのスポーツ・クリニックが終了し、平成4年度からはスポーツ外来部門を当センターの業務、トレーニング・クリニック部門を体育センターの業務とするスポーツ・クリニックがスタートした。

平成6年には、創立20周年を迎え、記念誌「学生相談室20周年誌」を発行した。

平成9年12月に、センター事務室等の改修工事が行われ、事務部門及び看護部門を一体化し、サービスセンターとしての機能の向上を図った。

平成10年4月から、健康診断実施業務の充実と省力化を図るため外部業者に業務委託を行うとともに、関連業務の効率化を図るための電算化を開始した。

平成11年には、健康診断業務の電算化をさらに推進し、受診者の健康管理や健康診断証明書発行業務等での一層の効率化を図った。また、創立25周年を迎え、記念誌を発行した。

平成14年10月の図書館情報大学との統合に伴い同大学体育・保健センターの保健部門との組織及び業務の統合が行われた。

平成16年4月の国立大学法人化に伴い、当センターも労働安全衛生法に基づく労働安全衛生業務を担当することになり、センター職員も産業医や衛生管理者として専門的業務に対応することになった。

平成19年7月に、本学が当番大学となり第45回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館講堂において開催した。

平成20年1月に、学生健康診断証明書の証明書自動発行機からの発行が開始となり、学生の利便性が図られた。

平成23年3月に、学生相談のWEBサイトのリニューアルを行い、モバイルサイトを構築した。

平成24年2月に、学生相談窓口を春日エリアにも開設した。

平成24年3月に、保健管理センターホームページのリニューアルを行った。

平成25年10月1日から、耐震改修工事のため、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所を休診とし、当センターのみ11月11日に、クラブハウスに仮移転して診療業務を開始した。なお、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所は、耐震改修後の併設が困難なことから、平成26年1月31日に廃止した。

平成26年6月24日に、当センターの耐震改修工事が完了したため、仮移転先のクラブハウスから移転した。

平成27年10月から、本学附属病院主催の「診療の安全に関する研修」（年2回開催）を当センターにてDVD研修として実施した。

平成28年6月に設置された保健管理センターのあり方検討会を経て、11月に保健管理センター改革準備委員会が設置され、平成29年6月に役員会において改革提言（診療の有償化、健診・救護に関わる業務の効率化、学生相談・メンタルヘルス対策充実に関わる体制・環境の見直し及び管理・運営体制の見直し）が報告された。

改革提言のもと、平成30年4月よりセンター組織をフィジカルヘルス部門とメンタルヘルス部門に分け、副所長を設置した。さらに入試救護の集約化、後発医薬品の積極採用が行われた。平成31年1月からは診療情報管理システム“THOCS”を導入し、診療料金等の有償化を開始した。同年4月、保健管理センターから学生相談室を分離独立させ、学生相談体制の強化を図った。また、スポーツ・クリニックを整形外科に統合した。さらに、同年度より健康診断における法定外の項目を中心とする検査項目の見直しが行われた。

令和元年11月に感染症予防対策の一環として、希望者に対し、インフルエンザワクチン接種を実施した。

令和2年8月に新型コロナウイルス感染症の疑いのある者に対する発熱外来（電話診療）を設置した。

大学周辺には歯科施設が充足している状況にあること等を踏まえ、令和3年3月31日を以って歯科診療を廃止した。

令和3年8月30日から11月5日まで、新型コロナウイルスワクチン職域接種（1、2回目）が実施され、当センターからも人員を派遣し協力した。

令和4年6月6日から6月17日まで、12月5日から12月16日まで、新型コロナウイルスワクチン職域接種（3、4回目）が実施され、当センターからも人員を派遣し協力した。

2. 保健管理センター細則

〔平成 16 年 4 月 1 日〕
〔保健管理センター部局細則第 1 号〕

改正 平成 26 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 2 号
平成 31 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 2 号
令和 2 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 3 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 4 年保健管理センター部局細則第 1 号

保健管理センター細則

（趣 旨）

第 1 条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則（平成 16 年法人規則第 1 号。以下「基本規則」という。）第 51 条第 5 項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（目 的）

第 2 条 センターは、国立大学法人筑波大学（以下「本学」という）における保健管理に関する専門的な業務を行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。

（業 務）

第 3 条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生及び職員等の健康管理等についての企画及び立案に関すること。
- (2) 学生及び職員等の定期及び臨時の健康診断の実施並びに保健指導に関すること。
- (3) 学生及び職員等の急病等に対し応急診療及び救急処置を行うこと。
- (4) 学生及び職員等の健康相談に応じること。
- (5) 学生のメンタルヘルスに関する相談、診療及び企画を行うこと。
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関し教育指導を行うこと。
- (7) 心身の健康障害の予防及び保健管理の充実向上のための専門的調査研究を行うこと。
- (8) その他健康管理等に関する専門的業務を行うこと。

2 センターは、前項各号の業務のうち職員に係るものについては、基本規則第 35 条第 1 項及び

国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則（平成16年法人規則第29号）第10条に規定する特別な組織として設置される環境安全管理室と連携して、これを行うものとする。

（診療料金等）

- 第4条 前条第1項第3号及び第5号に規定する診療及び処置に関する業務において、診察費、薬剤費、検査費、処置費、書類作成費等（以下「診療料金等」という。）を徴収する。
- 2 前項に規定する診療料金等の額及び徴収方法は、別表のとおりとする。
- 3 第1項に規定する診療料金等の領収証書、領収済報告書及び原符の様式は、それぞれ別記様式第1号から第3号までのとおりとする。

（副所長）

- 第5条 センターに、副所長を置く。
- 2 副所長は、センターの業務に従事する大学教員のうちからセンターの長（以下「所長」という。）が指名する。
- 3 副所長は、所長の職務を補佐する。
- 4 副所長の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、副所長となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

（部 門）

- 第6条 センターに、次の表の左欄に掲げる部門を置き、同表右欄の業務を担当する。

名 称	担当業務
フィジカルヘルス部門	身体に関する業務
メンタルヘルス部門	メンタルヘルスに関する業務

- 2 前項に規定する部門にリーダーを置き、所長が指名する。
- 3 リーダーは、第1項に掲げる業務を統括する。
- 4 リーダーの任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、リーダーとなる日の属する年度の翌年度の末日とする。

（運営委員会）

- 第7条 センターに、基本規則第53条第1項に規定する運営委員会として、センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。
- 2 委員会は、センターの管理運営に関する基本的な事項を審議する。
- 3 委員会は、次に掲げる委員で組織する。
- (1) 所長

- (2) 副所長
- (3) センターの業務に従事する大学教員 2 人
- (4) 医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 3 人
- (5) その他センターの維持運営に関係する大学教員 5 人
- (6) 学生部長

第 8 条 前条第 3 項第 3 号から第 5 号までの委員の任期は、2 年とする。ただし、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

- 2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前 2 項の委員は、再任されることができる。

第 9 条 委員会に委員長を置き、第 7 条第 3 項第 1 号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員長に事故があるときは、第 7 条第 3 項第 2 号の委員がその職務を代行する。

第 10 条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門研究員)

第 11 条 センターに、特定の業務について調査研究を行わせるため、専門研究員を置くことができる。

- 2 専門研究員は、大学教員のうちから所長が指名する。
- 3 専門研究員の任期は、1 年とする。ただし、任期の終期は、専門研究員となる日の属する年度の末日とする。

(センター会議)

第 12 条 センターに、センターの業務の円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

- 2 センター会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この部局細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則施行前に運営委員会の委員である者であって、この部局細則施行後も当該委員として任期が引き続くものについては、この部局細則により運営委員会の委員となるものとみなす。ただし、その任期は、第 5 条第 1 項本文の規定にかかわらず、この部局細則施行の日から平成

17年3月31日までとする。

附 則（平26.12.16保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成26年12月16日から施行し、改正後の国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平30.3.20保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平30.12.21保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則（平31.3.1保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令元.9.6保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令元.10.8保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、令和元年11月1日から施行する。

附 則（令2.6.22保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和2年6月22日から施行し、改正後の保健管理センター細則の規定は、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令3.3.10保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令4.9.20保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和4年9月20日から施行する。

別表（第4条関係）

1 診療料金等の額

単位：円

項 目		内 科	整形外科	精神科
(1) 診察費		500	500	1,000
(2) 薬剤費		300	300	1,000
(3) 検査費	(a) レントゲン	500	500	500
	(b) 心理検査			1,000
	(c) 心理検査（簡易）			500
	(d) その他の検査	500	500	500
(4) 処置費	(a) 医師処置	500	500	500
	(a) 紹介状	1,000	1,000	1,000
	(b) 診断書（センターの診療に基づくもの）	1,000	1,000	1,000
	(c) 特殊診断書	2,000	2,000	2,000
	(d) レントゲンコピー	500	500	500
	(e) 検査結果コピー	500	500	500
(5) 書類作成費等	(f) その他	1,000	1,000	1,000
	(a) インフルエンザ	3,000		

2 診療料金等の徴収方法

(1) 定期健康診断の呼出し診療

定期健康診断の呼出しによる診療及び再検査は、無料とする。ただし、当日に薬剤処方が必要な場合は、薬剤費を徴収する。

(2) 1診療科を受診する場合

レントゲン及び心理検査以外の検査は、複数行われた場合であっても、検査費は500円とする。

(3) 複数の診療科を受診する場合

診察費、薬剤費、検査費及び処置費は、それぞれの診療科の診療料金等の額の合計額とする。

(4) その他

(7) 学生及び職員の定期健康診断に基づく健康診断証明書の作成は無料とする。

(イ) 来所証明書及びSPEC指示書の作成は無料とする。

(ウ) 看護師健康相談は無料とする。

(エ) 松葉杖等装具貸出しは無料とする。

(オ) 学生の保護者、又は指導教員等に対する相談は無料とする。

(カ) 特殊診断書には、センターの診療に基づく定型の診断書以外のすべての診断書を含む。

領 収 証 書		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印 	

円
 円
 円

合計金額
円

(大きさ A4)

領 収 済 報 告 書										No	
殿								(摘要)			
領 収 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円	
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役										領 収 日 付 印	
円 円 円											
合計金額										円	

(大きさ A4)

別記様式第 3 号（第 4 条関係）

原 符		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	

円
 円
 円

 合計金額 円

(大きさ A4)

3. 保健管理センター運営委員会

1) 運営委員名簿

2022年4月1日現在

氏 名	職 名	所 属	任 期	備 考
(センター所長)				
◎太 田 深 秀	准教授	医 学 医 療 系	—	
(センター副所長)				
間 瀬 かおり	講 師	医 学 医 療 系	—	
(センターの業務に従事する大学教員)				
村 越 伸 行	准教授	医 学 医 療 系	2022. 4. 1～2024. 3.31	
白 鳥 裕 貴	講 師	医 学 医 療 系	2022. 4. 1～2024. 3.31	
(医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員)				
檜 澤 伸 之	教 授	医 学 医 療 系	2021. 4. 1～2023. 3.31	
家 田 真 樹	教 授	医 学 医 療 系	2021. 4. 1～2023. 3.31	
川 上 康	教 授	医 学 医 療 系	2021. 4. 1～2023. 3.31	
(その他センターの維持運営に関係する大学教員)				
中 村 修	教 授	環境安全管理室	2022. 4. 1～2024. 3.31	環境安全管理室長
加 賀 信 広	教 授	人 文 社 会 系	2022. 4. 1～2024. 3.31	スチューデントサポートセンター 学生生活支援室長
杉 江 征	教 授	人 間 系	2022. 4. 1～2024. 3.31	スチューデントサポートセンター 学生相談室長
本 間 三和子	教 授	体 育 系	2022. 4. 1～2024. 3.31	体育センター長
新 井 哲 明	教 授	医 学 医 療 系	2022. 4. 1～2024. 3.31	附属病院 精神神経科グループ長
(本部部長であって学生生活に関する業務に従事する職員)				
関 瑞 穂	部 長	学 生 部	—	

◎は委員長を示す。

2) 運営委員会議事

2022年度の運営委員会は2回開催し、保健管理センター細則の一部改正（インフルエンザ接種料，副所長・リーダー再任規定）について審議を行った。

第1回 2022年9月13日～20日メール審議開催

議題等 ・保健管理センター細則の一部改正について

（インフルエンザワクチン接種料改訂）

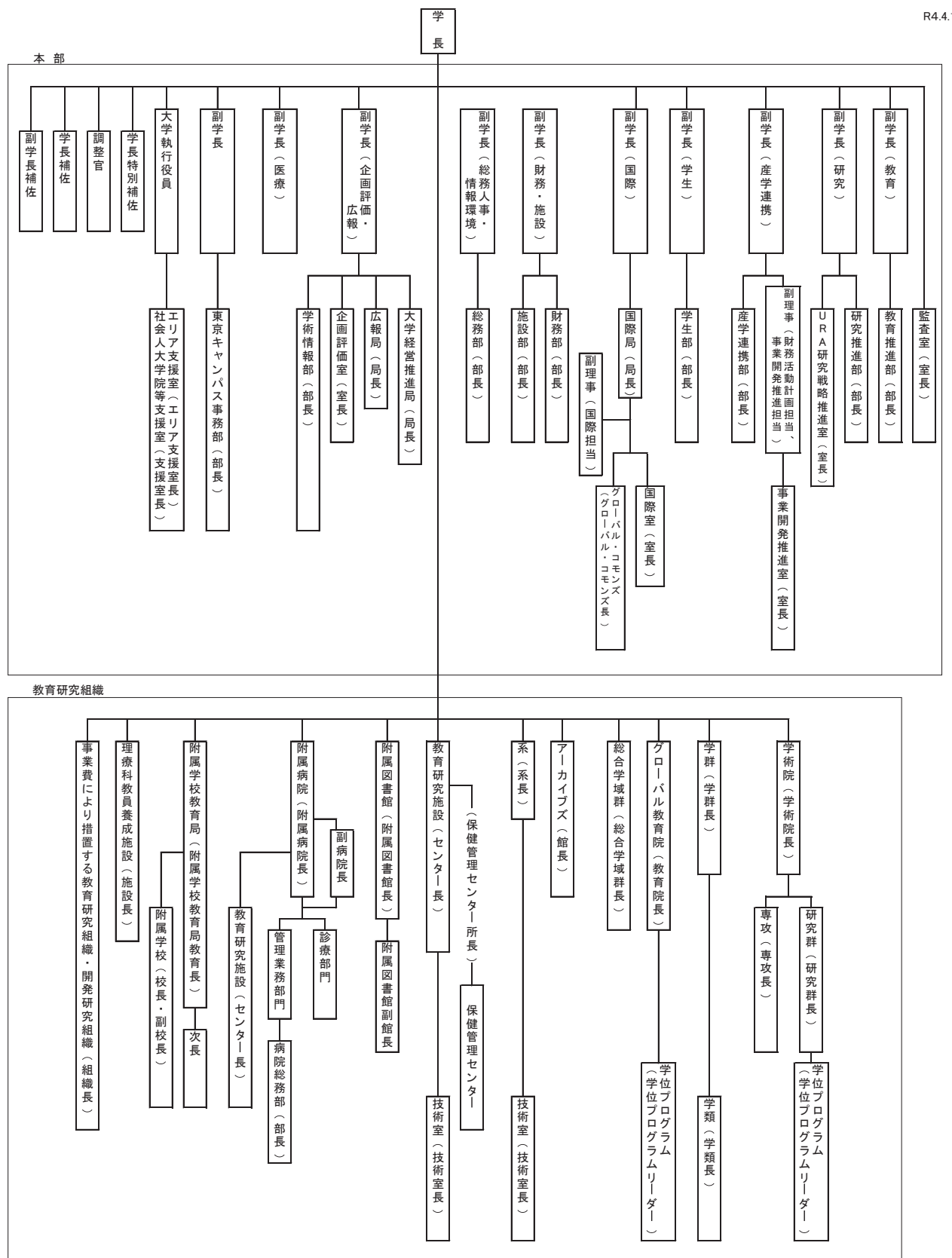
第2回 2023年2月1日～8日メール審議開催

議題等 ・保健管理センター細則の一部改正について

（副所長・リーダー再任規定新設）

4. 保健管理センターの組織図及び職員

1) 組織図



2) 職 員

所 長 精 神 科：太田 深秀 教授

副 所 長 内 科：間瀬 かおり 講師*

教 員 内 科：村越 伸行 准教授，谷田貝 洋平 講師
整形外科：三浦 紘世 講師
精 神 科：白鳥 裕貴 講師*，袖山 紀子 助教

医 療 職 員 岡本 祐子 看護師（～ 10/31），寺門 恵美子 看護師，
大川 明日香 看護師，坂本 幸子 看護師，
上等 美貴 保健師
大畑 瞳 薬剤師
片岡 裕司 診療放射線技師

事 務 職 員 中山 頼親 専門員，高野 七重 係長，黒堀 沙織 一般係員

非 常 勤 医 師 望月 美恵（内科）
埜口 博司（整形外科），宮本 芳明（整形外科）
石井 映美（精神科）

非常勤職員等 渡邊 明子 薬剤師，稲葉 由美子 臨床検査技師，
増田 彩乃 臨床心理士（テスター），荒木 文香 社会福祉士（～ 5/31）
松木 博 シニアスタッフ
李 暁芳 事務補佐員
鈴木 京子 派遣職員（5/16 ～）

（注）*は産業医

他に臨床医学域，心理学域，体育系からの多数の教員の御協力・御支援をいただいた。

5. 対 応 業 務 等

4 月	入学式救護と新入生オリエンテーション対応 学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断と再検査
5 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 障害のある学生定期健康診断 職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 春季スポーツ・デー救護
6 月	職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 職員一般定期健康診断（東京地区） 学生定期健康診断（東京地区） 学生・職員特殊健康診断（東京地区） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区） 体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査 新型コロナワクチン職域接種
7 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 共通科目「体育」集中実習（水辺活動）受講学生に対する健康診断審査・精密検査 大学院推薦入学試験に伴う救護 学群編入学試験に伴う救護
8 月	大学院入学試験に伴う救護 受験生のための筑波大学説明会に伴う救護 国際バカロレア特別入学試験に伴う救護
9 月	全国大学保健管理協会・関東甲信越地方部会研究集会参加
10 月	インフルエンザワクチン接種 アドミッションセンター入学試験（第Ⅰ期），国際科学オリンピック特別入学試験， 国際バカロレア特別入学試験に伴う救護 全国大学保健管理研究集会参加
11 月	秋学期入学者・外国人留学生健康診断と再検査 職員特定健康診断（春季未受診者を含む） 学生・職員特殊健康診断 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 職員特定健康診断（春季未受診者を含む）（東京地区） 職員特殊健康診断（東京地区）

11月	職員の胃エックス線検査・眼底検査（東京地区） 学園祭に伴う救護 秋季スポーツ・デー救護 学群推薦入学試験に伴う救護 学群推薦入学試験（体育専門学群）に伴う精密検査 インフルエンザワクチン接種
12月	学群編入学試験追試験に伴う救護 職員の胃エックス線検査 大学院（グローバル教育院）入学試験に伴う救護 インフルエンザワクチン接種
1月	大学入学共通テストに伴う救護 大学院入学試験（2月期）に伴う救護
2月	学生定期健康診断（医学類，看護・医療科学類，教育実習，介護等体験） 個別学力検査等試験前期日程に伴う精密検査・救護
3月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 個別学力検査試験後期日程に伴う救護 卒業式・学位記授与式に伴う救護

（注）（東京地区）の記載のないものはすべて筑波地区で実施したもの。

標記の行事等対応業務のほか，次の日常的主要業務を行った。

- ・内科，整形外科，精神科の日常診療，健康相談，随時応急措置
- ・学生有償健康診断
- ・学生，職員要経過観察者の管理
- ・精神衛生相談，職業適性テスト，ロールシャッハテスト
- ・健康診断証明書の発行
- ・海外派遣労働者健康診断

6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学 群 個 別 学 力 検 査											19		19
学 群 推 薦 A C 入 試								16					16
科 目 等 履修生群生													
大 学 院													
科目等履修生 大学院研究生													
研 究 生・ 聴 講 生													
理療科教員 養 成 施 設													
外 国 人 留 学 生													
2学期入学 編 入 学													
計								16			19		35

※上段は書類審査数，下段は精密健康診断を実施

7. 学 生 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診状況

a) 学群生

健 診 種 別	2 月 (実習)			4 月 (定期)			10 月 (二学期入学・留学生等)		
学 群	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	在籍者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
人 文・文 化 学 群	43	41	95.3%	926	641	69.2%	6	5	83.3%
社 会・国 際 学 群	13	13	100.0%	671	407	60.7%	15	7	46.7%
人 間 学 群	47	43	91.5%	477	359	75.3%	2	2	0.0%
生 命 環 境 学 群	36	36	100.0%	1,008	748	74.2%	23	17	73.9%
理 工 学 群	48	47	97.9%	2,125	1,318	62.0%	9	9	100.0%
情 報 学 群	3	3	100.0%	1,038	663	63.9%	0	0	0.0%
グ ローバル教育院	0	0	0.0%	26	12	46.2%	4	4	100.0%
医 学 群	493	482	97.8%	798	742	93.0%	4	3	75.0%
体 育 専 門 学 群	157	142	90.4%	890	806	90.6%	0	0	0.0%
芸 術 専 門 学 群	21	21	100.0%	421	301	71.5%	2	2	100.0%
総 合 学 域 群	1	1	0.0%	439	390	88.8%	0	0	0.0%
学 群 計	862	829	96.2%	8,819	6,387	72.4%	65	49	75.4%

b) 大学院生

大 学 院	5	5	100.0%	6,907	3,143	45.5%	262	135	51.5%
-------	---	---	--------	-------	-------	-------	-----	-----	-------

c) 研究生等

研 究 生 等	1	1	100.0%	483	76	15.7%	470	411	87.4%
---------	---	---	--------	-----	----	-------	-----	-----	-------

合 計	868	835	96.2%	16,209	9,606	59.3%	797	595	74.7%
-----	-----	-----	-------	--------	-------	-------	-----	-----	-------

ii) 健康診断再検査者

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察
胸部エックス線		8	6		6	14	12	1	11	5	0		5	27	18	1	22
血 圧		2	1		1	3	2		2	3			1	8	3	0	4
尿	蛋 白	59	49	1	3	11	7		1	2	2			72	58	1	4
	糖	11	9		1	11	11	1	3	1	1			23	21	1	4
内 科 所 見		7	7	1	2	6	6	1	1	3	3	2		16	16	4	3
心 電 図		50	49	0	14									50	49	0	14
計		137	121	2	27	45	38	3	18	14	6	2	6	196	165	7	51

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了
こころの健康		821	93	45	48	413	55	28	27	39	3	3	0	1,273	151	76	75

(注) 胸部エックス線検査対象者は、学群1年生、大学院1年生、および実習等で健康診断証明書が必要な学生である。

(注) 心電図検査対象者は、体育専門学群1年生および、実習等で健康診断証明書が必要な体育専門学群生・学群1年生である。

(注) 結果：異常なしは、受検者数－(要治療＋経過観察)である。

(注) 2019年度より肥満は健康診断証明書での指導のみとした。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
初心者（5月）	96	92	0	59	33	0
定 期（5月）	149	109	0	68	38	2
初心者（7月）	27	22	0	11	11	0
初心者（11月）	17	14	0	7	7	0
令和5年 初心者（3月）	53	49	0	26	23	0
合 計	342	286	0	171	112	2

ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0

（注）2021 年度より学生の有機溶剤健康診断対象者及び対象物質を変更した。

iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0

（注）2021 年度より学生の特定化学物質健康診断対象者及び対象物質を変更した。

8. 職 員 健 康 診 断

1) 一般健康診断

i) 定期健康診断受診者数及び受診率

(令和4年10月1日在職者，非常勤職員：週20時間以上の勤務者)

事業場	対象者数	受診者数	受診率
大学本部等事業場	3,292	3,035	92.2%
附属病院事業場	2,613	2,564	98.1%
東京キャンパス事業場	161	145	90.1%
附属小学校事業場	49	46	93.9%
附属中学校事業場	34	33	97.1%
附属高等学校事業場	50	47	94.0%
附属駒場中学校・ 附属駒場高等学校事業場	51	51	100%
附属視覚特別支援学校事業場	110	109	99.1%
附属聴覚特別支援学校事業場	103	103	100%
附属大塚特別支援学校事業場	40	39	97.5%
附属桐が丘特別支援学校事業場	84	79	94.0%
附属坂戸高等学校事業場	52	45	86.5%
附属久里浜特別支援学校事業場	44	42	95.5%
計	6,683	6,338	94.8%
(令和3年度)	6,743	6,348	94.1%

(令和5年1月31日までの集計結果)

健康診断実施日 筑波地区：令和4年5月24日～6月2日（8日間）

令和4年11月8日～11月11日（4日間）

東京地区：令和4年6月22日～6月24日（3日間）

令和4年11月25日（1日間）

附属坂戸高等学校事業場，附属久里浜養護学校事業場，その他の遠隔地では別日程で実施。人間ドックや他の医療機関等の結果報告を含む。

ii) 事業場ごとの有所見者数及び有所見率

(令和4年度より、尿蛋白の要観察・要精密の基準変更)

事業場	受診者数	有所見者数 (要観察・要精密・要医療)		医療機関受診が 必要な者の数 (要精密・要医療)	
大学本部等事業場	3,035	2,235	73.6%	893	29.4%
附属病院事業場	2,564	1,362	53.1%	456	17.8%
東京キャンパス事業場	145	108	74.5%	47	32.4%
附属小学校事業場	46	34	73.9%	11	23.9%
附属中学校事業場	33	23	69.7%	6	18.2%
附属高等学校事業場	47	33	70.2%	15	31.9%
附属駒場中・高等学校事業場	51	35	68.6%	15	29.4%
附属視覚特別支援学校事業場	109	71	65.1%	30	27.5%
附属聴覚特別支援学校事業場	103	66	64.1%	22	21.4%
附属大塚特別支援学校事業場	39	29	74.4%	12	30.8%
附属桐が丘特別支援学校事業場	79	53	67.1%	20	25.3%
附属坂戸高等学校事業場	45	36	80.0%	14	31.1%
附属久里浜特別支援学校事業場	42	25	59.5%	6	14.3%
合 計	6,338	4,110	64.8%	1,547	24.4%

(注) 1つ以上所見を有する者の数。

iii) 項目別有所見者数及び有所見率

項目	春			秋		
	実施者数	有所見者数	有所見率	実施者数	有所見者数	有所見率
聴力 1000Hz	3,369	93	2.8%	588	17	2.9%
聴力 4000Hz	3,362	129	3.8%	588	28	4.8%
聴力（会話法）	2,272	3	0.1%	550	5	0.9%
胸部エックス線	5,552	611	11.0%	677	88	13.0%
喀痰検査	0	0		0	0	
血圧	5,661	1,272	22.5%	1,145	303	26.5%
貧血	4,105	1,142	27.8%	898	242	26.9%
肝	3,908	946	24.2%	806	198	24.6%
脂質	3,904	2,106	53.9%	803	413	51.4%
血糖	3,904	582	14.9%	798	144	18.0%
尿（糖）	5,627	106	1.9%	1,149	29	2.5%
尿（蛋白）	5,618	76	1.4%	1,146	45	3.9%
心電図	3,942	354	9.0%	790	32	4.1%

iv) 年間の有所見者数

(秋期には今年度 2 回目の受診者も含む (業務により年 2 回の受診が必要))

健診時期	受診者数	受診率	有所見者数 ^注 (要観察・要精密・要医療)	医療機関受診が必要な者の数 (要精密・要医療)
春	5,663	86.10%	3,587	1,333
秋	1,149	63.40%	740	256
合計	6,812	81.20%	4,327	1,589

(注) 1 つ以上所見を有する者の数。

v) 特定業務従事者の健康診断

業務		高熱	低温	放射線	粉じん	異常気圧	振動	重量物
人数	春	0	2	162	0	5	0	24
	秋	0	2	143	0	5	0	0
業務		騒音	坑内	深夜	酸・アルカリ	有害物ガス	病原体汚染	その他
人数	春	2	0	459	7	5	74	0
	秋	2	0	293	16	6	22	0

(注) 受診者のみ。2 つ以上の業務に該当するものについては、主として従事する業務。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断

実施月	従事者数	実施者数	眼科医による眼の検査	業務に伴う有所見者数
5月（初心者）	10	9		
5月	589	577	2	0
7月（初心者）	2	2		
11月（初心者）	4	3		
11月	643	583	1	0
令和5年3月（初心者）	0	0		
合計	1,248	1,174	3	0

（注1）実施月のうち5月、11月以外は、新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

（注2）令和4年度より、前年1年間に眼の水晶体に受けた等価線量が20mSvを超えており、今年度も超えるおそれのある者の眼の検査は、眼科医により実施。

ii) 有機溶剤健康診断

実施月	従事者数	実施者数	業務に伴う有所見者数
5月	32	32	0
11月	22	22	0
合計	54	54	0

iii) 特定化学物質健康診断

特殊健康診断名	従事者数	実施者数	業務に伴う有所見者数
5月	13	13	0
11月	12	12	0
合計	25	25	0

iv) 高気圧業務健康診断

特殊健康診断名	従事者数	実施者数	業務に伴う有所見者数
5月	6	6	0
11月	5	5	0
合計	11	11	0

3) 事後措置

i) 受診勧奨及び健康相談

健診後の対応	件数
通知送付	577
電話	130
メール	107
面談	54
合計	868

ii) 医師の意見

就業上配慮が必要と思われ、産業医から所属部署へ報告した人数	5
-------------------------------	---

4) がん検診

i) 胃造影検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,386	26	0.8%	0
東京地区	532	16	3.0%	2
合 計	3,918	42	1.1%	2

(注) 対象は、平成30年度から40才以上の、常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。希望者。
平成25年度から全員間接撮影。

ii) 便潜血反応検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,368	325	9.6%	10
東京地区	526	101	19.2%	1
合 計	3,894	426	10.9%	11

(注) 対象は、令和2年度から40才以上の、常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。希望者。
免疫学的便潜血反応検査（ラテックス凝縮法）を用いた。

iii) P S A検査

地 区	対象数	受診数	受診率
筑波地区	271	166	61.3%
東京地区	40	29	72.5%
合 計	311	195	62.7%

(注) 令和3年度から、対象者は50・55・60・65歳の、常勤職員及び週20時間勤務の非常勤職員。
希望者。

9. 保健管理センター利用状況

1) 健康相談月別利用状況

i) 学生内科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	19	38	61	34	18	13	106	107	125	17	21	15	574
大 学 院 生	6	25	29	18	13	12	67	52	58	20	19	15	334
研 究 生 等	2	2	4	2	2	1	10	9	6	3	1	5	47
合 計	27	65	94	54	33	26	183	168	189	40	41	35	955

ii) 学生整形外科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	42	52	67	27	42	49	78	39	37	31	28	20	512
大 学 院 生	6	9	8	9	12	8	10	8	12	11	7	3	103
研 究 生 等	1	1	2	1	1	1	2	3	0			0	12
合 計	49	62	77	37	55	58	90	50	49	42	35	23	627

iii) 学生外科処置・健康相談受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	2	4	9	3	2	1	6	5	5	1		2	40
大 学 院 生	1	2	3	5	3	2		2	1				19
研 究 生 等		2	1	1		0	1	1			1	2	9
合 計	3	8	13	9	5	3	7	8	6	1	1	4	68

(注) 学生外科処置・健康相談受診数とは、看護師が実施した件数である。

iv) 学生精神科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	66	88	121	114	72	76	99	64	99	80	92	109	1,080
大 学 院 生	50	71	80	92	85	70	88	68	93	82	66	92	937
研 究 生 等	1	2	2	3	2	4	5	3	6	3	5	3	39
合 計	117	161	203	209	159	150	192	135	198	165	163	204	2,056

v) 職員・その他

区分／ 科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本 学 職 員	4	2	12	19	22		202	74	83	4	10	5	437
そ の 他 の 外 来 者													0
合 計	4	2	12	19	22	0	202	74	83	4	10	5	437

内 科	4	1	8	11	18		202	68	75	2	6	1	396
整 形 外 科		1	4	7	4			4	8	2	3	4	37
精 神 科													0
外 科 処 置	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	4

(注) その他の外来者とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

(注) 精神科は、急患対応のみである。

2) 診療収入等

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	17,900	26,900	57,100	58,300	48,800	34,800	64,400	56,000	42,100	60,600	63,800	63,600	594,300
整 形 外 科	51,700	60,700	89,100	46,500	61,000	59,100	92,900	58,800	58,100	47,000	35,700	24,600	685,200
精 神 科	212,000	283,000	320,500	309,500	239,000	261,000	336,000	231,000	341,000	301,000	304,500	392,000	3,530,500
そ の 他	2,000	9,000	8,000	10,500	6,500	8,500	978,000	542,000	662,500	6,500	2,500	7,000	2,243,000
合 計 (円)	283,600	379,600	474,700	424,800	355,300	363,400	1,471,300	887,800	1,103,700	415,100	406,500	487,200	7,053,000

(注) 診療収入等には、診療費、薬剤費、診断書等が含まれる。

(注) その他には、診察外の診断書、予防接種等が含まれる。

(参考：前年度(2021.4～2022.3)の診療収入等)

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	36,600	82,600	74,000	70,800	61,000	66,400	131,900	66,800	60,800	83,400	56,700	104,400	895,400
整 形 外 科	30,000	32,900	85,800	92,800	52,000	88,400	85,600	76,200	72,100	58,000	57,900	65,700	797,400
精 神 科	262,000	242,000	343,500	367,500	298,000	254,000	344,000	302,500	383,500	326,500	358,000	410,000	3,891,500
そ の 他	1,500	1,500	15,000	7,500	0	2,000	706,000	716,500	523,000	6,500	0	11,000	1,990,500
合 計 (円)	330,100	359,000	518,300	538,600	411,000	410,800	1,267,500	1,162,000	1,039,400	474,400	472,600	591,100	7,574,800

10. そ の 他

1) インフルエンザワクチン接種

対 象	接 種 数
学 生	408
職 員	316
計	724

2) 臨床検査実施数

月	血 液	尿	心電図	超音波検査	腸内細菌検査	その他	合 計
4 月	1	2	7		1	1	12
5 月	3	27	11			3	44
6 月	8	8	39			5	60
7 月		6	15		5	4	30
8 月	3	7	2	1	1	4	18
9 月		7	2	1	2	5	17
10月	8	6	9	5		4	32
11月	2	15	5			5	27
12月	4	5	5			2	16
1 月	3	8	5			4	20
2 月	8	20	12			10	50
3 月	7	14	11	1		11	44
合 計	47	125	123	8	9	58	370

3) エックス線写真撮影件数

区 分	学 生	職 員	合 計
月	件 数	件 数	件 数
4	37	0	37
5	47	0	47
6	61	4	65
7	40	4	44
8	47	3	50
9	42	2	44
10	76	0	76
11	52	2	54
12	35	9	44
1	42	2	44
2	36	4	40
3	30	1	31
合 計	545	31	576
学生定期健康診断撮影 7,354名			
職員定期健康診断撮影 5,816名			

4) 心理検査実施数

月	実 施 数
令和4年4月	
5月	5
6月	
7月	
8月	
9月	1
10月	
11月	
12月	3
令和5年1月	
2月	
3月	
合 計	9

5) 処方箋発行枚数

月	発 行 数
令和4年4月	112
5月	149
6月	178
7月	168
8月	139
9月	139
10月	197
11月	141
12月	200
令和5年1月	162
2月	153
3月	179
合 計	1,917

6) 外部診療機関紹介状況

区分 \ 科分類	内 科	整 形 外 科	歯 科	精 神 科	救 急 外 来	そ の 他	合 計
学 群 生	50	21		29	1	69	170
大 学 院 生	18	8		27		25	78
研 究 生	15	2		3		1	21
学 生 合 計	83	31	0	59	1	95	269
職 員・そ の 他	9	2				12	23
合 計	92	33	0	59	1	107	292

注) 区分のその他とは、本学校内における公開講座，合宿の参加者，見学者などである。

7) 健康診断証明書等発行数

i) 無償診断書等

	センター発行	自動証明書発行 装置発行	合 計
学 群 生	16	2,197	2,213
大 学 院 生	14	1,525	1,539
研 究 生	2		2
職 員	0		0
そ の 他	1		1
合 計	33	3,722	3,755

(注) 自動証明発行装置は、学生定型書式のみ。
 その他は、学振・特別研究員等である。

ii) 有償診断書等

	計
学 群 生	82
大 学 院 生	70
研 究 生	4
学生合計	156

職 員 ・ そ の 他	13
-------------	----

診断書：診療に関わるものや有償健康診断を含む

8) 救護活動

No.	実施期間	日数	行事等名称	救護班設置場所	利用者数
1	4/5	1	入学式	保健管理センター	1
2	5/14 ～ 5/15	2	春季スポーツデー	保健管理センター	6
3	7/6 ～ 7/7	2	大学院博士課程入試（7月期）	保健管理センター	0
4	7/9 ～ 7/10	2	学群編入学試験 帰国生徒特別入試（10月入学）	保健管理センター	0
5	8/6, 8/7, 8/11	3	大学説明会	保健管理センター	2
6	8/22, 23, 25	3	国際バカロレア 海外教育プログラム特別入試	保健管理センター	0
7	8/24 ～ 26 8/30 ～ 31	5	令和5年度 大学院博士課程入試（8月）	保健管理センター	0
8	10/12, 13, 17, 20, 25	5	令和5年度アドミッションセンター・国際科学オリンピック 特別入試 研究型人才入試	保健管理センター	0
9	10/13 ～ 14 17 ～ 19	5	令和5年度 大学院入学試験（10月実施）	保健管理センター	0
10	11/5 ～ 11/6	2	学園祭	保健管理センター	1
11	11/19 ～ 11/20	2	秋季スポーツデー	保健管理センター	3
12	11/29 ～ 11/30	2	推薦入試	保健管理センター 体芸試験場救護室	3
13	12/21	1	常陸大宮市中学生オープンキャンパス	保健管理センター	0
14	1/14 ～ 1/15	2	大学入学共通テスト	保健管理センター・ 各入試会場救護室	25
15	1/26 ～ 2/2	6	大学院入試（2月期）	保健管理センター	0
16	2/25 ～ 26	2	個別学力検査等（前期日程） 学群編入学試験	保健管理センター・ 各入試会場救護室	5
17	3/12	1	個別学力検査等（後期日程）	保健管理センター	0
18	3/24	1	卒業式	保健管理センター	0
計		47			46

9) 救急箱貸出数

月	貸 出 数
令和4年4月	0
5月	1
6月	0
7月	1
8月	2
9月	0
10月	1
11月	5
12月	0
令和5年1月	7
2月	7
3月	3
合 計	27

10) 医療安全教育研修

第1回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和4年9月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 23名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 医療事故防止に関する基本的事項
医療事故被害者・遺族が医療に望むこと

第2回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和4年12月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 22名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 医療安全（総集編）～安全文化を考える～
 - ・ 医療事故防止に関する基本的事項
 - ・ 医療安全（総集編）～安全文化を醸成する行動原則とスキル～

11. 研 究 業 績

<原著論文>

1. Miura K, Kadone H, Asada T, Sakashita K, Sunami T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Sato K, Eto F, Gamada H, Inomata K, Suzuki K, Yamazaki M. Evaluation of dynamic spinal alignment changes and compensation using three-dimensional gait motion analysis for dropped head syndrome. *Spine J*. 2022 Dec; 22(12): 1974-1982. doi: 10.1016/j.spinee.2022.07.096.
2. Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataka K, Shibao Y, Sato K, Eto F, Kono M, Asada T, Yamazaki M. Surgical Apgar Score and Controlling Nutritional Status Score are significant predictors of major complications after cervical spine surgery. *Sci Rep*. 2022 Apr 22; 12(1): 6605. doi: 10.1038/s41598-022-10674-2. PMID: 35459762; PMCID: PMC9033867.
3. Yasunaga Y, Koizumi R, Toyoda T, Koda M, Mamizuka N, Sankai Y, Yamazaki M, Miura K. Biofeedback Physical Therapy With the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type for Chronic Low Back Pain: A Pilot Study. *Cureus*. 2022 Mar 25; 14(3): e23475. doi: 10.7759/cureus.23475. PMID: 35495003; PMCID: PMC9038590.
4. Fujikawa T, Takahashi S, Shinohara N, Mashima N, Koda M, Takahashi H, Yasunaga Y, Sankai Y, Yamazaki M, Miura K. Early Postoperative Rehabilitation Using the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type in Patients With Hip Fracture: A Pilot Study. *Cureus*. 2022 Feb 22; 14(2): e22484. doi: 10.7759/cureus.22484. PMID: 35371681; PMCID: PMC8943782.
5. Inoue K, Tajiri K, Xu D, Murakoshi N, Ieda M. Risk Factors and In-Hospital Outcomes of Perioperative Atrial Fibrillation for Patients with Cancer: A Meta-Analysis. *Ann Surg Oncol*. 2023 Feb; 30(2): 711-721. doi: 10.1245/s10434-022-12690-y. PMID: 36273057.
6. Yamamoto M, Sato K, Murakoshi N, Yamada Y, Nakagawa D, Nakatsukasa T, Ishizu T, Ieda M. Additional diagnostic value of electron microscopic examination in endomyocardial biopsy in patients with suspected non-ischemic cardiomyopathy. *J Cardiol*. 2023 Feb; 81(2): 236-243. doi: 10.1016/j.jjcc.2022.09.012. PMID: 36182004.
7. Murakata Y, Yamagami F, Murakoshi N, Xu D, Song Z, Li S, Okabe Y, Aonuma K, Yuan Z, Mori H, Aonuma K, Tajiri K, Ieda M. Electrical, structural, and autonomic atrial remodeling underlies atrial fibrillation in inflammatory atrial cardiomyopathy. *Front Cardiovasc Med*. 2023 Jan 19; 9: 1075358. doi: 10.3389/fcvm.2022.1075358. eCollection 2022. PMID: 36741841.
8. Nagata Y, Watanabe R, Eichhorn C, Ohno S, Aiba T, Ishikawa T, Nakano Y, Aizawa Y, Hayashi K, Murakoshi N, Nakajima T, Yagihara N, Mishima H, Sudo T, Higuchi C, Takahashi A, Sekine A, Makiyama T, Tanaka Y, Watanabe A, Tachibana M, Morita H, Yoshiura KI, Tsunoda T, Watanabe H, Kurabayashi M, Nogami A, Kihara Y, Horie M, Shimizu W, Makita N, Tanaka T. Targeted deep sequencing analyses of long QT syndrome in a Japanese population. *PLoS One*. 2022 Dec 8; 17(12): e0277242. doi: 10.1371/journal.pone.0277242. eCollection 2022. PMID: 36480497.
9. Aonuma K, Xu D, Murakoshi N, Tajiri K, Okabe Y, Yuan Z, Li S, Murakata Y, Tominaga K, Nogami

- A, Aonuma K, Ieda M, Isoda H. Novel preventive effect of isorhamnetin on electrical and structural remodeling in atrial fibrillation. *Clin Sci (Lond)*. 2022 Dec 22; 136(24): 1831-1849. doi: 10.1042/CS20220319. PMID: 36540030.
10. Nakatsukasa T, Ishizu T, Ouchi M, Murakoshi N, Sato K, Yamamoto M, Kawanishi K, Seo Y, Ieda M. Sodium Glucose Co-Transporter 2 Inhibitors Improve Renal Congestion and Left Ventricular Fibrosis in Rats with Hypertensive Heart Failure. *Circ J*. 2022 Nov 25; 86(12): 2029-2039. Doi: 10.1253/circj.CJ-22-0105. PMID: 35944977.
 11. Kosuge H, Nakamura M, Oyane A, Tajiri K, Murakoshi N, Sakai S, Sato A, Taninaka A, Chikamori T, Shigekawa H, Aonuma K. Potential of Gold Nanoparticles for Noninvasive Imaging and Therapy for Vascular Inflammation. *Mol Imaging Biol*. 2022 Oct; 24(5): 692-699. doi: 10.1007/s11307-021-01654-5. PMID: 34580810.
 12. Yuan Z, Murakoshi N, Xu D, Tajiri K, Okabe Y, Aonuma K, Murakata Y, Li S, Song Z, Shimoda Y, Mori H, Aonuma K, Ieda M. Identification of potential dilated cardiomyopathy-related targets by meta-analysis and co-expression analysis of human RNA-sequencing datasets. *Life Sci*. 2022 Oct 1; 306: 120807. doi: 10.1016/j.lfs.2022.120807. PMID: 35841977.
 13. Shimoda Y, Murakoshi N, Mori H, Xu D, Tajiri K, Hemmi Y, Sato I, Noguchi M, Nakamura Y, Hayashi Y, Ieda M. Generation of a human induced pluripotent stem cell line derived from a patient with dilated cardiomyopathy carrying LMNA nonsense mutation. *Stem Cell Res*. 2022 Jul;62:102793. doi: 10.1016/j.scr.2022.102793. PMID: 35500377.
 14. Nakazawa N, Ishizu T, Sairenchi T, Yamagishi K, Murakoshi N, Nakagawa D, Nakatsukasa T, Kawamatsu N, Sato K, Yamamoto M, Machino-Otsuka T, Xu D, Irie F, Tomizawa T, Nogami A, Aonuma K, Iso H, Ieda M, Kawakami Y, Ota H. Right bundle branch block and risk of cardiovascular mortality: the Ibaraki Prefectural Health Study. *Heart Vessels*. 2022 Apr; 37(4): 609-618. doi: 10.1007/s00380-021-01944-6. PMID: 34562143.
 15. Kaori Mase, Chie Saito, Joichi Usui, Yoshihiro Arimura, Kosaku Nitta, Takashi Wada, Hirofumi Makino, Eri Muso, Nobuhito Hirawa, Masaki Kobayashi, Wako Yumura, Shouichi Fujimoto, Naoki Nakagawa, Takafumi Ito, Yukio Yuzawa, Seiichi Matsuo, Kunihiro Yamagata: The efficacy and safety of mizoribine for maintenance therapy in patients with myeloperoxidase anti-neutrophil cytoplasmic antibody (MPO-ANCA)-associated vasculitis: the usefulness of serum mizoribine monitoring. *Clinical and Experimental Nephrology* 26(11): 1092-1099, 2022
 16. Takuya Harada, Kei Nagai, Kaori Mase, Ryoya Tsunoda, Kunitoshi Iseki, Toshiki Moriyama, Kazuhiro Tsuruya, Shouichi Fujimoto, Ichiei Narita, Tsuneo Konta, Masahide Kondo, Matsato Kasahara, Yugo Shibagaki, Koichi Asahi, Tsuyoshi Watanabe, Kunihiro Yamagata: Elevated crude mortality in obese chronic kidney disease patients with loss of exercise habit: A cohort study of the Japanese general population. *Intern Med*. 2022 Dec 21, (DOI: 10.2169/internalmedicine.0803-22)
 17. Ujihara M, Tachikawa H, Takahashi A, Gen T, Cho Y. Factors Related to Psychological Distress in Suicide Prevention Supporters during the COVID-19 Pandemic. *Int J Environ Res Public Health*. 2023 Mar 12;

- 20(6): 4991. doi: 10.3390/ijerph20064991. PMID: 36981900 PMCID: PMC10049627
18. Shigemoto Y, Sato N, Maikusa N, Sone D, Ota M, Kimura Y, Chiba E, Okita K, Yamao T, Nakaya M, Maki H, Arizono E, Matsuda H. Age and Sex-Related Effects on Single-Subject Gray Matter Networks in Healthy Participants. *J Pers Med*. 2023 Feb 26; 13(3): 419. PMID: 36983603 PMCID: PMC10057933 DOI: 10.3390/jpm13030419
 19. Ide R, Ota M, Hada Y, Takahashi T, Tamura M, Nemoto K, Arai T. Relationship between hippocampal subfields volume and balance function in healthy older adults. *Gait Posture*. 2023 Mar; 101: 90-94. doi: 10.1016/j.gaitpost.2023.02.003. Epub 2023 Feb 4. PMID: 36764212.
 20. Yoshii K, Kimura D, Kosugi A, Shinkawa K, Takase T, Kobayashi M, Yamada Y, Nemoto M, Watanabe R, Ota M, Higashi S, Nemoto K, Arai T, Nishimura M. Screening of mild cognitive impairment through conversations with humanoid robots: Exploratory pilot study. *JMIR Form Res*. 2023 Jan 13; 7: e42792. doi: 10.2196/42792. PMID: 36637896. PMCID: PMC9883738. Free PMC article.
 21. Midorikawa H, Tachikawa H, Aiba M, Shiratori Y, Sugawara D, Kawakami N, Okubo R, Tabuchi T. Proposed Cut-Off Score for the Japanese Version of the Fear of Coronavirus Disease 2019 Scale (FCV-19S): Evidence from a Large-Scale National Survey in Japan. *Int J Environ Res Public Health*. 2022 Dec 27; 20: 429. doi.org/10.3390/ijerph20010429. PMID: 36612751
 22. Sekiya T, Ogura Y, Kai H, Kawaguchi A, Okawa S, Hirohama M, Kuroki T, Morii W, Hara A, Hiramatsu Y, Hitomi S, Kawakami Y, Arakawa Y, Maruo K, Chiba S, Suzuki H, Kojima H, Tachikawa H, Yamagata K. TMPRSS2 gene polymorphism common in East Asians confers decreased COVID-19 susceptibility. *Front Microbiol*. 2022 Nov 30; 13:943877. doi: 10.3389/fmicb.2022.943877. eCollection 2022. PMID: 36532428
 23. Midorikawa H, Ekoyama S, Tachikawa H, Ota M, Tamura M, Takahashi T, Sekine A, Ide M, Matsuzaki A, Nemoto M, Nemoto K, Arai T. Association 臨床精神医学. *Psychogeriatrics*. 2023 Jan; 23(1): 45-51. doi: 10.1111/psyg.12901. Epub 2022 Oct 26. PMID: 36289565
 24. Ota M, Sato N, Nakaya M, Shigemoto Y, Kimura Y, Chiba E, Yokoi Y, Tsukamoto T, Matsuda H. Relationships Between the Deposition of Amyloid- β and Tau Protein and Glymphatic System Activity in Alzheimer's Disease: Diffusion Tensor Image Study. *J Alzheimers Dis*. 2022 Oct 25; 90(1): 295-303. PMID: 36120782 DOI: 10.3233/JAD-220534
 25. Ota M, Nemoto K, Nemoto M, Numata Y, Kitabatake A, Yamada Y, Shinkawa K, Kobayashi M, Arai T. Structural cerebral network differences in prodromal Alzheimer's disease and prodromal dementia with Lewy bodies. *Dement Geriatr Cogn Disord*. 2022; 51(5): 421-427. doi: 10.1159/000527443. Epub 2022 Dec 27. PMID: 36574761
 26. Sodeyama N, Takahahi S, Aiba M, Haraguchi Y, Arai T, Tachikawa H. A comparison of mental health among earthquake, tsunami, and nuclear power plant accident survivors in the long term after the great east Japan earthquake. *Int J Environ Res Public Health*. 2022 Oct 28; 19(21): 14072. doi: 10.3390/ijerph192114072. PMID: 36360954 PMCID: PMC9659037. Free PMC article
 27. Yamada Y, Shinkawa K, Nemoto M, Ota M, Nemoto K, Arai T. Speech and language characteristics

- differentiate Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies. *Alzheimers Dement (Amst)*. 2022 Oct 27; 14(1): e12364. doi: 10.1002/dad2.12364. eCollection 2022. PMID: 36320609 PMCID: PMC9614050. Free PMC article
28. Yamada Y, Kobayashi M, Shinkawa K, Nemoto M, Ota M, Nemoto K, Arai T. Characteristics of drawing process differentiate Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies. *J Alzheimers Dis*. 2022; 90(2): 693-704. doi: 10.3233/JAD-220546. PMID: 36155515. PMCID: PMC9697058. Free PMC article.
 29. Hidese S, Ota M, Matsuo J, Ishida I, Yokota Y, Hattori K, Yomogida Y, Kunugi H. Association of body mass index and its classifications with gray matter volume in individuals with a wide range of body mass index group: A whole-brain magnetic resonance imaging study. *Front Hum Neurosci*. 2022 Sep 8; 16: 926804. doi: 10.3389/fnhum.2022.926804. eCollection 2022. PMID: 36158620 PMCID: PMC9493114
 30. Ishikawa K, Nemoto K, Shiratori Y, Sodeyama N, Kodama K, Usuniwa H, Yamada N, Yaguchi C, Hori T, Arai T, Tachikawa H. Aberrant resting - state functional connectivity of major depressive disorder with higher risk of suicide *Psychiatry Clin. Neurosci. Rep*. 2022; 1: e35. doi.org/10.1002/pcn5.35.03 August 2022
 31. Midorikawa H, Tachikawa H, Aiba M, Watanabe T, Tamiya N, Arai T. Factors associated with short and long sleep duration in older adults: Analysis of a national survey in Japan. *Geriatr Gerontol Int*. 2022 Aug; 22(8): 660-666. doi: 10.1111/ggi.14438. Epub 2022 Jul 18. PMID: 35844191
 32. Tachikawa H, Kubo T, Gomei S, Takahashi S, Kawashima Y, Manaka K, Mori A, Kondo H, Koido Y, Ishikawa H, Otsuru T, Nogi W. Mental health needs associated with COVID-19 on the diamond princess cruise ship: A case series recorded by the disaster psychiatric assistance team. *Int J Disaster Risk Reduct*. 2022 Oct 15; 81: 103250. doi: 10.1016/j.ijdr.2022.103250. Epub 2022 Aug 20. PMID: 36032696; PMCID: PMC9391089.
 33. Sodeyama N, Tachikawa H, Takahashi S, Aiba M, Haraguchi Y, Arai T. The mental health of long-term evacuees outside Fukushima prefecture after the great east Japan earthquake. *Tohoku J Exp Med*. 2022 Jul 9; 257(3): 261-271. doi: 10.1620/tjem.2022.J038. Epub 2022 Apr 28. PMID: 35491126 Free article.
 34. Boku Y, Ota M, Nemoto M, Numata Y, Kitabatake A, Takahashi T, Nemoto K, Tamura M, Sekine A, Ide M, Kaneda Y, Arai T. Effects of a multicomponent day-care program on cerebral blood flow in patients with mild cognitive impairment. *Psychogeriatrics*. 2022 Jul; 22(4): 478-484. doi: 10.1111/psyg.12847. Epub 2022 May 9. PMID: 35534913
 35. Asada T, Kakuma T, Ota M, Jon Lebowitz A, Shibata N, Niizato K, Izumimoto N, Abe Y, Tanaka M, Arai T. Development of informant-reported or self-reported MCI-J questionnaire. *Int J Geriatr Psychiatry*. 2022 Aug; 37(8). doi: 10.1002/gps.5773. PMID: 35775722.
 36. Takahashi T, Ekoyama S, Tachikawa H, Midorikawa H, Shiratori Y, Ota M, Takahashi S, Arai T. Mental Health of Caregivers Working in Nursing Homes during the COVID-19 Pandemic. *Dement Geriatr Cogn Disord*. 2022; 51(3): 233-240. doi: 10.1159/000524953. Epub 2022 Jun 9. PMID: 35679835 PMCID: PMC9393777
 37. Shiratori Y, Ogawa T, Ota M, Sodeyama N, Sakamoto T, Arai T, Tachikawa H. A longitudinal comparison

of college student mental health under the COVID-19 self-restraint policy in Japan. J Affect Disord Rep. 2022 Apr; 8:100314. doi: 10.1016/j.jadr.2022.100314. Epub 2022 Feb 10. PMID: 35169765. PMCID: PMC8830143. Free PMC article

<総説>

1. 間瀬かおり, 山縣邦弘: 慢性腎臓病・透析患者と便秘. 臨床透析 38 (4): p.351-356, 2022
2. 間瀬かおり, 山縣邦弘: II. 糸球体疾患 急速進行性糸球体腎炎. 別冊 日本臨床 領域別症候群シリーズ No.22 腎臓症候群(第3版) I —その他の腎臓疾患を含めて— p.70-74
3. 太田深秀, 新井哲明: 認知症 認知症早期診断時代における診断後支援の在り方, クリニシアン (0387-1541) 70巻1号 Page17-22, 2023.01
4. 渡部衣美, 根本清貴, 太刀川弘和, 新井哲明. PsySEPTAおよびPsyTLCの取り組みについて. いばらき精神保健ほんさんて. 2023, vol.105, p. 1-5, 2023.01
5. 渡部衣美, 根本清貴, 太刀川弘和, 新井哲明: 学術・生涯教育関係の頁 症例検討・論文など 精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成<PsySEPTA>の取り組み, 茨城県医師会報 (0914-4501) 829号 Page76-79, 2022.12
6. 太刀川弘和: 自殺に関する近年のわが国の動向, 精神科 42 (1): 1-6, 2023.1
7. 氏原将奈, 太刀川弘和: コロナ禍で戦う支援者の心理的支援—モラルの視点を踏まえて, 地域保健 53 (6): 30-33, 2022.11
8. 翠川晴彦, 太刀川弘和: 新型コロナウイルス感染症に関連する不安や恐怖, 臨床精神医学 51 (9), 981-988, 2022.9
9. 太刀川弘和: 災害精神医療の観点から 別冊医学のあゆみ 自殺の予防と危機・救急対応: 24-28, 2022.8
10. 太刀川弘和: 子どもの自殺の基礎知識 精神神経学雑誌 124 (5): 308-313, 2022.5
11. 太刀川弘和: 現代の日本における自殺の現状, 月報 司法書士 602, 16-20, 2022.4

<著書>

1. 太刀川弘和: パンデミックと自殺問題, 患者安全推進ジャーナル 別冊 病院内の自殺対策のすすめ方 改訂版. 認定病院患者安全推進協議会, (公財) 日本医療機能評価機構, 30-30, 2023.01

<執筆>

1. 三浦紘世, 門根秀樹, 國府田正雄, 山崎正志. 腰部装着型HAL®による腰痛の予防から運動療法への応用までの取り組み. 脊椎脊髄. 2022; 35 (5): 321-325
2. 三浦紘世, 門根秀樹, 國府田正雄, 山崎正志. 成人脊柱変形患者では歩行中に胸椎と骨盤の前傾が進行する—三次元歩行動作解析を用いた動的なアライメントの解析. 整形外科. 2022; 73 (4): 375-378
3. 三浦紘世. 成人脊柱変形に対する三次元歩行動作解析. 整形外科. 2022; 73 (13): 1380

<学会発表（国内）>

1. 三浦紘世, 朝田智之, 坂下孝太郎, 江藤文彦, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群の矯正手術と三次元歩行動作解析を用いたバイオメカニクス的分析. 第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2022年11月, 大阪. シンポジウム「たれ首 治療コンセプト」
2. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 圧迫性頸髄症における CONUT スコアを用いた術前の栄養評価と術後主要合併症発生との関連. 第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 2022年10月, 宮崎
3. 三浦紘世, 江藤文彦, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群の手術戦略と三次元歩行動作解析によるバイオメカニクス分析. 第71回東日本整形災害外科学会, 2022年9月, 東京. シンポジウム「首下がり・腰曲がり治療の最前線」
4. 三浦紘世, 猪股兼人, 坂下孝太郎, 蒲田久典, 朝田智之, 江藤文彦, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. THA 後亜脱臼の愁訴が脊柱変形矯正手術により改善した一例. 第54回脊椎外科同好会, 2022年9月, 軽井沢
5. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 佐藤康介, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群における三次元歩行動作解析による歩行時脊椎矢状面バランスとアライメントとの関連. 第95回日本整形外科学会, 2022年5月, 神戸
6. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. CONUT スコアでの術前の栄養障害は圧迫性頸髄症の術後主要合併症の発生と関連する. 第95回日本整形外科学会, 2022年5月, 神戸
7. Miura K, Sato K, Asada T, Kono M, Eto F, Shibao Y, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M. Preoperative malnutrition is related to postoperative major complications for degenerative cervical myelopathy –a matched analysis using propensity scores– 第51回日本脊椎脊髄病学会, 2022年4月, 横浜
8. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 佐藤康介, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群における三次元歩行動作解析による歩行時脊椎矢状面バランスと単純X線によるアライメントとの関連. 第51回日本脊椎脊髄病学会, 2022年4月, 横浜
9. Yuan Z, Murakoshi N, Xu D, Tajiri K, Li S, Murakata Y, Okabe Y, Song Z, Shimoda Y, Mori H, Aonuma K, Ieda M. Heart Failure-related Potential Molecule Identified by Bioinformatics analysis and Mouse Model. 第8回日本心筋症研究会. 2022.5.14. 高知. 口頭
10. Mori H, Murakoshi N, Shimoda Y, Xu D, Kobayashi K, Murakata Y, Yuan Z, Li S, Song Z, Aonuma K, Ieda M. Generation and Analyses of iPSC-derived Cardiomyocytes from a Dilated Phase Hypertrophic Cardiomyopathic Patient Carrying MYBPC3 Frameshift Mutation. 第26回日本心不全学会. 2022.10.21-10.23. 奈良. 口頭
11. Yuan Z, Murakoshi N, Xu D, Li S, Murakata Y, Song Z, Mori H, Ieda M. Nine key Molecules and Underlying mechanisms Related with Heart Failure are Identified by Meta-Analysis and Consensus

- Analysis of RNA-sequencing. 第26回日本心不全学会. 2022.10.21-10.23. 奈良. 口頭
12. Yuan Z, Murakoshi N, Xu D, Li S, Murakata Y, Song Z, Mori H, Ieda M. Heart Failure related Potential Key Molecule was Identified by Human RNA-sequencing datasets and Mouse Model. 第26回日本心不全学会. 2022.10.21-10.23. 奈良. 口頭
 13. Song Z, Murakoshi N, Xu D, Murakata Y, Yuan Z, Li S, Aonuma K, Tajiri K, Nogami A, Ieda M. The therapeutic effect of BET inhibitor on atrial fibrillation. Cardiovascular Metabolic Week (CVMW) 2022. 2022.12.17. 東京. 口頭
 14. Song Z, Murakoshi N, Xu D, Murakata Y, Yuan Z, Li S, Aonuma K, Okabe Y, Mori H, Tajiri K, Ieda M. The effect of BET inhibitor on pathogenesis of atrial fibrillation. 第87回日本循環器学会学術集会. 2023.3.10-12. 福岡. 口頭
 15. 井上慶子, 田尻和子, 許東洙, 村越伸行, 家田真樹. Prevalence, risk factors, and in-hospital outcomes of perioperative atrial fibrillation after noncardiac cancer. 第87回日本循環器学会学術集会. 2023.3.10-12. 福岡. 口頭
 16. 井上慶子, 許東洙, 小宮山潤, 田尻和子, 村越伸行, 岩上将夫, 森隆浩, 田宮菜奈子, 家田真樹. Impact of catheter ablation for atrial fibrillation on long- term care need level; a population-based cohort study. 第87回日本循環器学会学術集会. 2023.3.10-12. 福岡. 口頭
 17. 岡部雄太, 村越伸行, 井藤葉子, 三好千香, 船戸弘正, 石井光一郎, 井上華, 村山尚, 呉林なごみ, 許東洙, 青沼和宏, 菜茂晴, 横山詩子, 櫻井隆, 家田真樹, 柳沢正史. Molecular Mechanisms of a Newly Established Inherited Arrhythmia Mouse Model and Its Clinical Application. 第87回日本循環器学会学術集会. 2023.3.10-12. 福岡. 口頭
 18. Zixun Yuan, Nobuyuki Murakoshi, Dongzhu Xu, Kazuko Tajiri, Siqi Li, Yoshiko Murakata, Yuta Okabe, Zonghu Song, Haruka Mori, Masaki Ieda. Deletion of EIF4EBP3 prevents heart failure progression through maintaining mitochondrial function. 第87回日本循環器学会学術集会. 2023.3.10-12. 福岡. 口頭
 19. 村方好子, 山上文, 田尻和子, 村越伸行, 許東洙, 岡部雄太, 李思琪, 袁梓勛, 宋宗虎, 森遥香, 青沼和宏, 小林和真, 青沼和隆, 家田真樹. Interleukin-6 Signaling Promotes Inflammation-Mediated Arrhythmogenic Atrial Remodeling in Mice. 第87回日本循環器学会学術集会. 2023.3.10-12. 福岡. ポスター
 20. 上等美貴, 藤井邦彦, 間瀬かおり, 中村修: 特殊健康診断間隔緩和にむけた体制整備とコスト試算. 第32回日本産業衛生学会全国協議会(札幌), 2022年9月
 21. 井上晃平, 新坂真広, 角田亮也, 秋山知希, 石井龍太, 臼井俊明, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 腎不全を呈したコレステロール塞栓症に対しステロイドとLDLアフェレシスで腎機能改善が得られた一例. 第52回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 2022年10月
 22. 塚田剛, 臼井俊明, 井上晃平, 古野慎太郎, 新坂真広, 野村惣一郎, 原田拓也, 秋山知希, 石井龍太, 角田亮也, 藤田亜紀子, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 柴胡加竜骨牡蛎湯の関与が疑われる急性尿細管間質性腎炎に対しステロイド治療が奏功し

- た1例. 第52回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 2022年10月
23. 中島健太郎, 臼井俊明, 秋山知希, 石井龍太, 角田亮也, 藤田亜紀子, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 臼井丈一, 斎藤知栄, 山縣邦弘: 多発血管炎性肉芽腫症に対するリツキシマブ投与による寛解維持療法中に生じた遅発性好中球減少症の一例. 第52回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 2022年10月
 24. 塚田剛, 臼井丈一, 野村惣一郎, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 古垣達也, 名倉正明, 金子修三: CART vs 通常の腹水穿刺は胃液との比較検討: 定期的な腹水排液による難治性腹水管理による腎不全急性増悪の回避. 第43回日本アフェレシス学会学術大会(金沢), 2022年11月
 25. 高柳ひかり, 角田亮也, 原田拓也, 秋山知希, 石井龍太, 臼井俊明, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 分娩直前に発症し巣状分節性糸球体硬化症と診断されたネフローゼ症候群の1例. 第32回腎と妊娠研究会学術集会(愛媛), 2023年3月
 26. 井上晃平, 臼井俊明, 野村惣一郎, 石井龍太, 秋山知希, 角田亮也, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 臼井丈一, 斎藤知栄, 瀧田翔, 森利雄, 鎌田浩史, 山縣邦弘: 扁桃摘出術とステロイドパルス療法を要する活動性IgA腎症にアスリートリハビリテーションを実施した一例. 第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(埼玉), 2022年3月
 27. 高橋晶, 太刀川弘和: 「ダイヤモンドプリンセス号で支援活動を行った救援者のメンタルヘルス」, 第28回日本災害医学会, 盛岡, 2023年3月9-11日
 28. 江湖山さおり, 関根彩, 高橋晶, 太刀川弘和: ポスター「茨城県コロナ関連メンタルヘルス対策協議会における活動報告」, 第28回日本災害医学会, 盛岡, 2023年3月9-11日
 29. 池田美樹, 原田奈穂子, 高橋晶, 丸山嘉一, 太刀川弘和: ポスター「精神保健・心理社会的支援における組織間連携と調整の評価と課題—令和元年度台風15号・19号安房保健圏域のMHPSS活動」, 第28回日本災害医学会, 盛岡, 2023年3月9-11日
 30. 福生泰久, 五明佐也香, 河寫讓, 高橋晶, 池田美樹, 余田悠介, 尾崎光紗, 太刀川弘和: ポスター「都道府県DPATが担う役割と活動における不安—都道府県DPAT隊員へのアンケート調査結果から—」, 第28回日本災害医学会, 盛岡, 2023年3月9-11日
 31. 五明佐也香, 福生泰久, 河寫讓, 高尾碧, 高橋晶, 池田美樹, 余田悠介, 尾崎光紗, 太刀川弘和: 口頭「新型コロナウイルス感染症のクラスター対応に関するDPAT活動」, 第28回日本災害医学会, 盛岡, 2023年3月9-11日 塚田剛, 臼井俊明, 井上晃平, 古野慎太郎, 新坂真広, 野村惣一郎, 原田拓也, 秋山知希, 石井龍太, 角田亮也, 藤田亜紀子, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 柴胡加竜骨牡蛎湯の関与が疑われる急性尿細管間質性腎炎に対しステロイド治療が奏功した1例. 第52回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 2022年10月
 32. 目野浩二, 是永龍巳, 劉珊, 井上真, 鈴木秀昭, 瀧原孝宣, 馬場吉武, 稲垣隼, 常深秀人, 田形千佳, 麻生賢太, 中川沙恵, 小林誠, 角間辰之, 朝田隆, 太田深秀, 新井哲明, 内田和彦, ポスター: 「抹茶による認知機能低並びに睡眠の質の低下抑制におけるバイマーカーの変化について」, 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会, 2022年11月26日
 33. 太田深秀, 根本みゆき, 沼田悠梨子, 新井哲明, ポスター: 「Effects of a multicomponent day-care

- program on CBF in patients with MCI」, 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会, 2022年11月25日
34. 渡部衣美, 太刀川弘和, 根本清貴, 高尾哲也, 松崎朝樹, 新井哲明: 口頭「一般社団法人 筑波精神医学研修センター PsyTLCの取り組みについて」, 第70回茨城県精神医学集談会, オンライン, 2022年11月3日
 35. 高橋晶, 太刀川弘和, 根本清貴, 堀孝文: 共同演者「新型コロナウイルス感染症罹患後精神症状外来の取り組みについて」, 第70回茨城精神医学集談会, 2022年11月3日
 36. 太刀川弘和: コロナ禍の自殺についてシンポジウム「コロナ禍における自殺関連問題」, 第35回日本総合病院精神医学会総会, 東京, 2022年10月28-29日
 37. 川島義高, 米本直裕, 高橋晶, 笹原信一郎, 氏原将奈, 綿谷恵子, 太刀川弘和: 口頭「医療従事者のMoral injury/distressに対する介入効果のエビデンス集積: ランダム化比較試験の系統的レビュー」. 第35回日本総合病院精神医学会総会, 東京, 2022年10月28-29日
 38. 太刀川弘和, 白鳥裕貴, 川上直秋, 菅原大地, 相羽美幸: 口頭「社会的孤立の生成プロセス解明と介入法開発: 健康な「個立」を目指してSDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」, リステックス 令和4年度プログラム全体会議, 東京, 2022年10月23日
 39. 渡辺衣美, 根本清貴, 白鳥裕貴, 山川百合子, 繁田雅弘, 太刀川弘和, 新井哲明: ポスター「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材育成(PsySEPTA)の取り組み」第18回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会, (ライブ配信) 2022年10月22日-23日
 40. 安宅勝弘, 太刀川弘和, 布施泰子, 丸谷俊之, 高橋あすみ, 河西千秋, 石井映美, 小田原俊成: 口頭「公立・私立大学を対象とした死亡学生実態調査(2020-2021年度)について」第60回全国大学保健管理研究集会, 相模原, 2022年10月19-20日
 41. 袖山紀子, 太田深秀, 白鳥裕貴, 坂本幸子, 太刀川弘和, 新井哲明: 口頭「新型コロナウイルス感染症流行下における大学生のライフスタイルとメンタルヘルス」第60回全国大学保健管理研究集会, 相模原, 2022年10月19-20日
 42. 袖山紀子, 太田深秀, 白鳥裕貴, 太刀川弘和, 新井哲明: 「新型コロナウイルス感染症流行下における大学生のライフスタイルとメンタルヘルス」, 第60回大学保健管理研究集会, 横浜, 2022年10月19-20日
 43. 太田深秀, 井出亮太郎, 新井哲明: 口頭発表「健常高齢者におけるヒト脳内Glymphaticシステムの活動性と海馬容積に関連の検討」第27回日本神経精神医学会学術集会, (ライブ配信) 2022年10月14日-15日
 44. 太刀川弘和, 矢口知絵, 高橋晶, 辻本哲士, 丸山嘉一, 五明佐也香: ポスター「災害派遣精神医療チーム(DPAT)の活動開始・終了基準の検討」, 第30回日本精神科救急学会, 浦和, 2022年9月30-10月1日
 45. 高橋晶, 田口高也, 高橋あすみ, 笹原信一郎, 川島義高, 新井哲明, 太刀川弘和: ポスター「ダイヤモンドプリンセス号で支援活動を行った救援者のメンタルヘルス」, 第30回日本精神科救急学会学術総会, 埼玉, 2022年10月1日

46. 太刀川弘和：口頭「セッションⅣ：思春期の複合課題 ①思春期の自殺」，第6回思春期学会研究認定者講習会（オンデマンド），オンライン，2022年9月20日
47. 太刀川弘和，菅原大地，茂木麻由，氏原将奈，玄東和，張賢徳：口頭「コロナ禍における自殺念慮者の動機—JASP 調査2021 から—」，第46回日本自殺予防学会総会，熊本，2022年9月9-11日
48. 菅原大地，太刀川弘和，茂木麻由，氏原将奈，玄東和，張賢徳：口頭「孤独感を動機とした自殺念慮者の特徴-JASP 調査2021 を用いた比較」，第46回日本自殺予防学会総会，熊本，2022年9月9-11日
49. 氏原将奈，太刀川弘和，玄東和，菅原大地，茂木麻由，張賢徳：口頭「コロナ禍における自殺予防支援者のストレスと不安-質的分析から見えた課題」，第46回日本自殺予防学会総会，熊本，2022年9月9-11日
50. 太刀川弘和：シンポジウム「コロナ禍の災害精神支援と自殺対策へのヒント：シンポジウム1 災害と自殺予防」，第46回日本自殺予防学会総会，熊本，2022年9月9-11日
51. 太田深秀，北島綾子，沼田悠理子，新井哲明：「アルツハイマー型認知症に伴う軽度認知機能障害とレビー小体型認知症における軽度認知機能障害との神経ネットワークの違い」，第46回日本神経心理学会，札幌，2022年9月8-9日
52. 太刀川弘和，高橋晶，笹原信一郎，川島義高，氏原将奈，綿谷恵子，松浦麻子：口頭「モラルを護る映画はあるか？映画のシステマティックレビュー」，第69回日本病跡学会総会，つくば，2022年7月30-31日
53. 翠川晴彦，櫛引夏歩，綿谷恵子，田口高也，高橋晶，白鳥裕貴，根本清貴，笹原信一郎，大井雄一，道喜将太郎，堀大介，松崎一葉，新井哲明，山縣邦弘，太刀川弘和：ポスター「新型コロナウイルス感染症対応病院における職員の精神的苦痛の関連要因及び関連要因の軽減に寄与する対策の検討」，第19回日本うつ病学会総会，大分，2022年7月14-15日
54. 太刀川弘和，松島みどり，翠川晴彦，相羽美幸，大久保亮，田淵貴大：ポスター「コロナ禍において孤独が自殺念慮に与えた影響：JACSIS 研究から」，第19回日本うつ病学会総会，大分，2022年7月14-15日
55. 渡部衣美，白鳥裕貴，根本清貴，山川百合子，繁田雅弘，太刀川弘和，新井哲明：シンポジウム8 新時代の要請に応える支援理念や手法の創出と地域・社会への展開：課題解決型高度医療人材養成プログラム「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成（PsySEPTA）の取り組み」，第118回日本精神神経学会学術総会，福岡（福岡国際会議場）（現地開催・ライブ配信・オンデマンド併用），2022年6月16日
56. 太刀川弘和：口頭「新型コロナパンデミックがもたらした精神保健の諸課題」，日本精神保健看護学会 第32回学術集会教育講演，2022年6月4-5日
57. 太刀川弘和：COVID-19がもたらしたメンタルヘルスの問題，招待シンポジウム「COVID-19の心理的影響，そして今後の方向性」第14回日本不安症学会学術集会，東京，2022年5月21日-22日

<学会発表（国外）>

1. Miura K. Analyses of dynamic alignment change using a three-dimensional gait motion analysis system for adult spinal deformity and dropped head syndrome. DKOU 2022, JOA-DGOU-GJSOT JOINT SESSIONS, October 2022, Berlin, Germany
2. Miura K. Biofeedback physical therapy with hybrid assistive limb (HAL) lumbar type for chronic low back pain and locomotive syndrome. DKOU 2022, JOA-DGOU-GJSOT JOINT SESSIONS, October 2022, Berlin, Germany
3. Marutani T, Fuse-Nagase Y, Tachikawa H, Iwami T, Yamamoto Y, Moriyama T, Yasumi K : Suicides among undergraduate and graduate students in Japan during the COVID-19 pandemic. 2022 Annual Meeting of the American College Health Association. San Diego. 2022年5月31日 -6月24日

<講演>

1. Miura K. Clinical experience of MySpine MC for adult spinal deformity. 2022 MySpine MC International Experts Discussion, November 2022, Online
2. Miura K. Our current surgical strategy for dropped head syndrome. 24th The Study Group for Nerve and Spine (SGNS), March 2022, Online
3. 間瀬かおり：透析患者も慢性便秘の管理について。透析治療オンラインセミナー（WEB開催，共催（株）三和化学研究所），2023年3月
4. 太刀川弘和：「大学ができる自殺対策 ヘルシーキャンパスを目指して」，いのち支える自殺対策推進センター 大学における自殺対策推進のための研修，いのち支える自殺対策推進センター，2023年3月
5. 太刀川弘和：「孤独を防ぐSNSの効果とリスク シンポジウム：情報とメンタルヘルス～SNSの負の側面と適切な利用を考える～」，メンタルヘルスの集い（第37回日本精神保健会議），日本精神衛生会，2023年3月
6. 太刀川弘和：「孤立とは，孤独とは—今わかっていること，これからできること—」，川崎市こころの健康セミナー，川崎市，2023年3月
7. 太刀川弘和：「精神障害のある方への地域支援-統合失調症を中心に」，第3回生活支援部会研修会，結城市，2023年3月
8. 太刀川弘和：「大学生の自殺対策」，福岡大学病院自殺対策研修，福岡大学病院，2023年3月
9. 白鳥裕貴：茨城県内の自殺予防について—こころの医療センター，筑波大学での取り組み—，茨城県医療従事者うつ病・自殺予防対応力向上研修会，2023年2月
10. 太刀川弘和：「笠間市自殺予防ゲートキーパー研修会」，令和5年笠間民生委員児童委員研修会，笠間市，2023年2月
11. 太刀川弘和：「こども・若者の自殺予防」，令和4年度福島県医師会メンタルヘルスシンポジウム，福島県医師会，2023年1月
12. 太刀川弘和：「学生の自殺予防について」，令和4年度学生相談室主催講演会，麗澤大学，2022年12月

13. 太刀川弘和：「地域における自殺予防対策について」，令和4年度青森県市町村等自殺対策担当者連絡会，青森県，2022年12月
14. 太刀川弘和：「自殺研究，自殺予防の最近の動向」，筑波大学精神保健学セミナー，筑波大学，2022年12月
15. 太刀川弘和：「災害精神保健活動からみえる地域支援の重要性と課題」，日本精神神経学会精神科専門医制度生涯教育研修会「精神科医の地域貢献」，北海道精神神経学会，2022年10月
16. 太刀川弘和：「DPATの概要」，第6回茨城D P A T隊員研修会，茨城県福祉部，2022年10月
17. 太刀川弘和：「個立社会の実現に向けて～社会的孤立と孤独について考える～」，RISTEX事業公開シンポジウム，RISTEX，2022年10月
18. 安宅勝弘，太刀川弘和，高橋あすみ：「学生のメンタルケア～こころの専門家と考えよう 若者のいのち～」，東京都保健福祉局 こころといのちの講演会，東京都保健福祉局，2022年9月
19. 太刀川弘和：「医療者なら知っておきたい自殺予防の基礎知識」，水戸市自殺対策研修会，水戸市，2022年9月
20. 太刀川弘和：「思春期の子どもの心と向き合う」，茨城県教育研修センター研修会，茨城県教育研修センター，2022年8月
21. 太刀川弘和：「とても大切な自殺予防の話」，とても大切な自殺予防の話，筑波大学附属病院，2022年7月
22. 太刀川弘和：「自殺予防よりそい支援事業研修会（基礎編）」，コーギーの家（小美玉市），2022年6月
23. 太刀川弘和：「コロナ禍と職場メンタルヘルス」，一般社団法人茨城研究開発型企业交流協会（IRDA）講演会，一般社団法人茨城研究開発型企业交流協会，2022年5月

<受賞>

1. 太田深秀：2022年日本神経精神学会奨励賞 受賞

<その他>

1. 日独整形災害外科学会 令和4年度フェローシッププログラム，Germany，2022

令和 6 年 3 月

編集・発行 筑波大学保健管理センター

〒305-8577

茨城県つくば市天王台 1 - 1 - 1

電話 (029) 853 - 2401

FAX (029) 853 - 2402
